

文化構想学部複合文化論系 2015年度 ゼミ論文・卒業研究 題目一覧

言語文化ゼミ（ことばの歴史・ことばの地理） 上野和昭先生

「バイト敬語」から見る若年層の敬語意識

群馬県前橋市における方言使用の実態—前橋市方言調査報告（2015）—

文末表現（笑）の語用論的役割について

首都圏の若者を中心としたオノマトペの使用実態

日本語母語話者の読点使用に関わる文法的意識についての考察—早稲田大学学生への使用傾向調査をもとに—

若者と嫌われるカタカナ語

兵庫県西脇市における北播磨方言の変遷

発話速度の観点から見るテレビバラエティ番組におけるナレーションの特徴

言語文化ゼミ（ことばの表記・ことばの発達） 古屋昭弘先生

シンガポールにおける教育と英語

現代社会におけるSNS

琉球語の成立、及び周辺アジア諸国言語の影響について

東南アジアに見るインドと中国からの影響とは

異民族国家における国字創製の意義

言語文化ゼミ（ことばの科学・ことばの哲学） 酒井智宏先生

日常会話等における省略されたことわざの使用とその効果

言語喪失研究における言語テストの妥当性と信頼性についての分析

デジタル・アートに指標性はあるか ロザリンド・クラウス「指標論」から現代のアートを読み解く

若者の育成地域以外の方言を使用したコミュニケーションの再考

「音楽は世界共通の言語」という表現における発言者の使用意図および解釈の考察

親族名称の虚構的用法に関する日本語と中国語の対照研究

「する」を伴う擬態語と「つく」を伴う擬態語の使用における違いについて

類義語「思う」と「考える」の意味分析

文化人類学ゼミ（〈伝統〉文化とその変動） 西村正雄先生

持続可能なアニメ聖地巡礼に向けて

居住型ゲストハウスの特性—ゲストハウスオーナーとその居住者から—

「祈り」の遺産～巡礼地としての震災遺構の可能性～

民話の伝承—地域との関係性から見つめなおす民話の未来—

地場産業の現状と課題—皮革の町・浅草エーラウンドの活動を例に—

日本人の若者に求められる、異文化コミュニケーション・コンピテンス

老舗洋食レストラン高田牧舎の実践

就活は本当に辛いのか？—メディア調査とインタビューから紐解く実態—

「オタク」と呼ばれる人々の行動原理に関する考察

日本における「外国人」イメージと「白人」志向—「外国人風メイク」を切り口に—

都市における非伝統的文化の定着と発展についての考察—高円寺阿波おどりを事例に—

かんざし工房三浦にみる、伝統工芸品の未来

在日ビルマ難民のライフヒストリー—カチン難民のエスニック・アイデンティティの再構築—

日本の性風俗とこれからの性風俗ビジネスについて～魅惑の鶯谷の街を例に～

開かれたまちづくりの未来—シモキタオープンイノベーションを例に

大型店の台頭に伴う商店街活性化の限界と新たな方法の考察

相原・二本松商店街の店主コミュニティ意識形成要因—イベント・会合への参加の意味と、それがもたらすもの—

東京と地方の縫製工場～下請からの脱却～

神田神保町と古書店の関係

アイヌにみるアイデンティティとしての民族

池袋の変容～池袋チャイナタウンにみる池袋の地域性～

鎌倉と外国人観光客

江の島における観光のあり方

神田神保町のカバン屋レオマカラズヤ—100年以上にわたる経営の秘密に迫る—

きもの文化再興計画—現代における需要と課題—

文化人類学ゼミ（文化ツーリズム論） 青木啓将先生（寺崎秀一郎先生）

温浴施設と作られる「癒し」—3つの温浴施設の事例から—

在日コリアン若者世代の帰属意識研究—朝鮮学校卒業生の事例を中心に—

里山資本主義とグリーンツーリズムの課題～宮城県 刈田郡 蔵王町の現状を事例として～

<舞台裏>としての谷根千一演出せずとも外国人観光客を受け入れ続ける理由～

町並み景観を保全していくために～埼玉県川越市蔵造りの町並み～

難民支援とコミュニティ～ENCOM YOKOHAMA、CTICなんみんサービスの事例から～

現代日本社会に生きる外国人労働者～悩みを抱えるカンボジア人新聞奨学生から～

観光客に求められるバスツアーとは何か～はとバスを事例に考える～

四万十川におけるエコミュージアムをめざして～高知県四万十川流域における四万十川観と四万十川における保全、体験施設の取り組みの事例から～

東京都大久保地域に暮らす在日コリアンの震災の記憶とコミュニティ

グローバリゼーション下の在日外国人～東京都西葛西の在日インド人コミュニティから～

物産展からみる都市部と地方文化の在り方

東日本大震災の語り部と震災学習～岩手県沿岸部を事例にして～

金沢のおもてなし観光～金沢市の宿泊業、工芸体験、観光行政に関する事例を通して～

ファーマーズマーケットが生み出す人々のつながり～八百屋・マーケットが人気を博す現状を通して考える～

都市生活高齢者の「生きがい」～東京都新宿区の生涯学習団体の事例から～

ホテルと日本人～現代日本人の自然の関わり方と自然保護～

伝統芸能の継承の現在：静岡県三島市の伝統芸能しゃぎりの継承とコミュニティの検討

異文化接触ゼミ（アートと異文化コミュニケーション） 坂上桂子先生

日本の公共広告～アメリカとの国際比較

中原淳一の少女像 あるいは 中原淳一と少女のイメージ

「Y字路」シリーズにみる横尾忠則の美術

イサム・ノグチの造形概念と帰属意識

ピエール・ボナールの風景画とジャポニスム

ポール・シニャックと色彩表現の変化

クリムトの装飾モチーフについて

ミュシャのポスター～《ジスモンダ》を中心に

ポートランドにみるまちづくりと地域活性

エミール・ガレ作《悲しみの花瓶》とジャポニスム

カミーユ・ピサロにおけるルーアン風景画

喜多川歌麿の美人大首絵について

ルネ・マグリットの「太陽の時代」

江戸歌舞伎にみる歌舞伎の広告的側面—二代目市川團十郎の活躍から—

東山魁夷と白い馬

ジョージア・オキーフ作「花」にみるジェンダーの問題

モーリス・ドニの宗教画

葛飾応為の光と影

ディック・ブルーナとモダンアート

異文化接触ゼミ（文化変容論） 宮城徳也先生

コーヒー文化の変容—サードウェーブという新たな潮流—

ヨーロッパの移民の過去・現在・未来

ピュグマリオニズムモチーフ作品の比較

シャガールの作品における十字架

日本の食文化を守るために

ハワイアンフラにみる伝統とイノベーション～日本文化の閉鎖性と継承方法の考察～

プロセルピナの花園に見る自然描写の態度

人形という幻想の在り処～ベルメール、リラダン、フィッツジェラルド、谷崎潤一郎の作品における人形愛の考察～

英雄像の変遷—英雄叙事詩的観点から見るアメリカン・コミックス—

韓国における対日文化交流政策

「ホクロ」はなぜ、魅力的なのか

Japanese English in World Englishes

「カワイイ文化」が女性に与える価値と力

日本人が色に求めたもの—色彩文化の変容と、色の意義の変遷—

2011年「アラブの春」でエジプトに何が起きたのか—権威主義体制からの脱却の試みに焦点を当てて

フェアトレードから考える「倫理的であること」の意味

「左」を取り巻く世界—「左」に対するイメージの変化を考える—

訪日観光客誘致活動が日本の観光文化に与える影響

長崎のカトリック教会建築群の成立の背景と現在

東西鉄道網の文化とその比較

サンティアゴ巡礼の現在 レジャーとしての巡礼の姿

異文化接触ゼミ（メディア・コミュニケーション論） 高橋利枝先生

若者の対人コミュニケーション行動とその動機に関する調査—グローバル時代における自己とは—

日本人にとって心地よい選択肢の量はいくつか—消費行動からみる日本人の選択肢処理能力—

若者のコト消費—東京ディズニーランド・シーを事例として分析—

現代におけるデジタルネイティブの再考 「SNSアカウント乗っ取り事件」から見るネットリテラシーの有無
Instagramが若者の主観的幸福感に及ぼす影響とは？

若者のソーシャルメディア依存～若者の意識と現状から問題点を考える～

なぜ日本のアニメは海外展開に苦戦してきたのか～アニメ人気を収益化するために～

日本の「おもてなし文化」について～おもてなしはグローバル化するのか～

日本の若者の海外訪問における再訪動機

日本人はなぜ「バルス」とツイートするのか

サブスクリプションミュージックの今とこれから

人々はなぜシェアハウスで暮らすのか—シェアリングエコノミーの利用と若者の持つ価値意識の関連を問う

見た目が9割は本当か？～若者の非言語コミュニケーションにおける“見た目”の分析～

日本における動画配信サービスSVODの利用実態調査—若者の『NETFLIX』の「利用と満足研究」を通して—
若者における新日本人論の可能性—「とりあえずビール」を事例として—

訪日インバウンドツーリズムの持続可能性についての考察

なぜ現代の若者はLINEに「陶醉」するのか。—現代のメディア環境とコミュニケーション文化の関連性—

感性文化ゼミ（芸術／性愛／死） 小林信之先生

虚構化する日常と自己演出

中島義道における「時間」について

現代東京の音を知る

コラージュのトポス

ピュグマリオンの物語

政治家ヒトラーと哲学者ニーチェ——両者に思想的共通項は存在するのか、政治と哲学は無関係なのか——

カミングアウトからみるセクシュアルマイノリティのジェンダー・アイデンティティ形成

知覚の現象学的な考察と、世界内存在としての自己

ゲルハルト・リヒターの作品研究

ドビュッシーの音楽について——ドビュッシーは「象徴派と印象派のあいだ」の作曲家であるのか
体感とはなにか～共通感覚の視点から～

柳宗悦における美の思想について

〈顔〉が変わると〈わたし〉は変わるのか——〈顔〉の加工とアイデンティティ——
ベルクソン『意識に直接与えられているものについての試論:』精読—持続とはなにか—
心があるとはどういうことか

社会のなかの美術館～21世紀における日本の美術館を考える～

ロラン・バルト『明るい部屋』における写真の考察とその可能性

つかこうへいの哲学を探る

感性文化ゼミ（日本の美意識） 陣野英則先生

インドにおける分断の多重化—現代インド英語小説におけるインド、日本、アメリカの表象—

フランスにおける日本文化受容の様相——フランスから見た日本のイメージ

「美少女文化」に見る日本人の価値観

日本の食文化—国内外での「変容」をたどる—

現代の日本におけるメディアに対する信仰

現代日本人の精神構造——無意識の中の神道的価値観——

日本における新聞業界の特殊性とその将来

未熟なものの好きの日本人

ファッションにみる現代の日本的美意識

谷崎潤一郎研究——『源氏物語』の影響——

日本のおもてなし精神について

広告にみる日本文化—海外の日本文化受容—

戦時日本の国策映画

カワイイ文化の多面的分析

ミュージックビデオにおける社会性—日米韓、それぞれのミュージックビデオから読み解く世界—

卒業研究

タイ東北地方の中等教育機関における日本語教育～教育人類学的視点から～

誰のための祭りか—鳥越祭に関わる人びとの関係性を探る—

ラブソングと大衆の関係性—流行歌における傾向と歴史からの検討—

世俗化社会の聖地巡礼の意味から考える「宗教」と「スピリチュアリティ」の相違—現代サンティアゴ巡礼の共同性の観点から—

日本の都市景観

自己をめぐる認識の分析—怪物—に対する「分人パラダイム」の意義について—

なぜ私は死を恐れるのか—死の二重性と本質—永井均の〈私〉論から

人類学から見るポートランド都市計画

旧時代的英雄、そして現代的英雄